



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各位

2024年1月29日

株式会社 おきぎん経済研究所

## おきぎん県内景況・速報（2023年12月分）

◎ 県内景況は、回復している。

☆ 個人消費：スーパー売上高は全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

新車販売台数は前年同月を下回る。

中古車販売台数は前年同月を上回る。

☆ 建設関連：公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

☆ 観光関連：入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテル、

ともに前年同月を下回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊

収入(推計値)は下回る。

☆ 企業倒産：件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：新垣、中江、小嶺 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・確報 (2023年12月分)

©2023年12月 おきぎん「カトリア」景況図



概況：県内景況は、回復している。

12月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である新車販売台数は、前年同月を下回りました。中古車販売台数は、前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を上回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を下回りました。

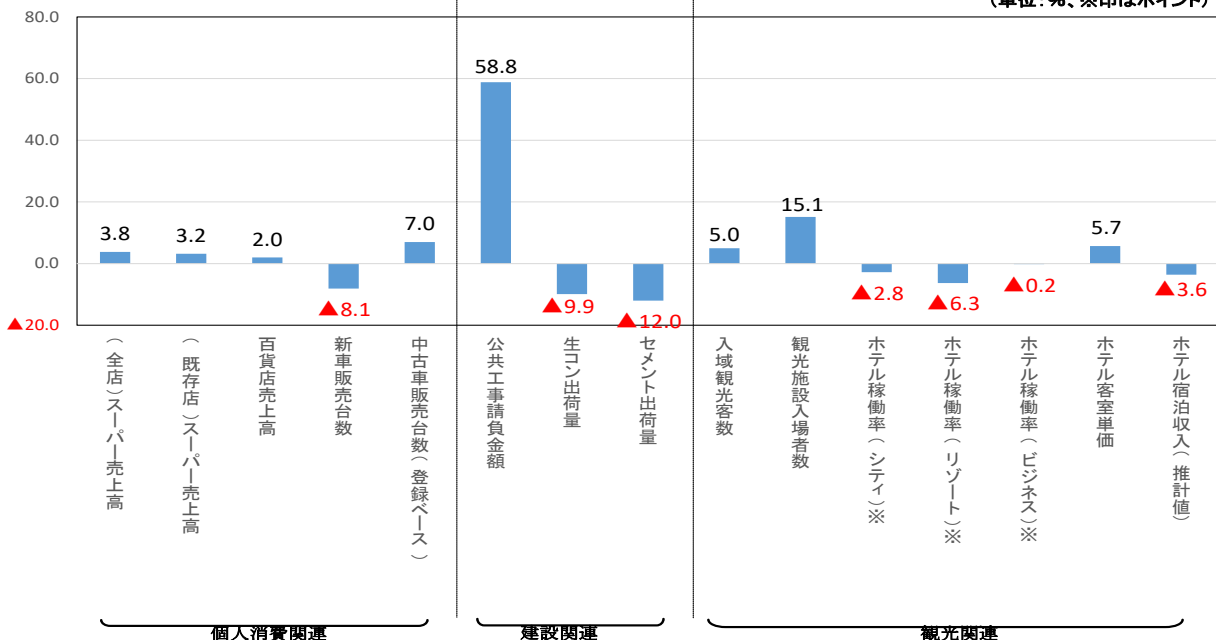
観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を下回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)においては前年同月を下回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、物価高の影響を受けながらも回復しています。建設関連は、概ね堅調に推移しています。観光関連は、全国旅行支援終了の影響を受けながらも、団体客や外国人観光客の増加などから回復しています。よって、「県内景況は、回復している」と景気判断を据え置きました。

(2023年10月の上方修正から3か月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比(増減率)

(単位: %、※印はポイント)



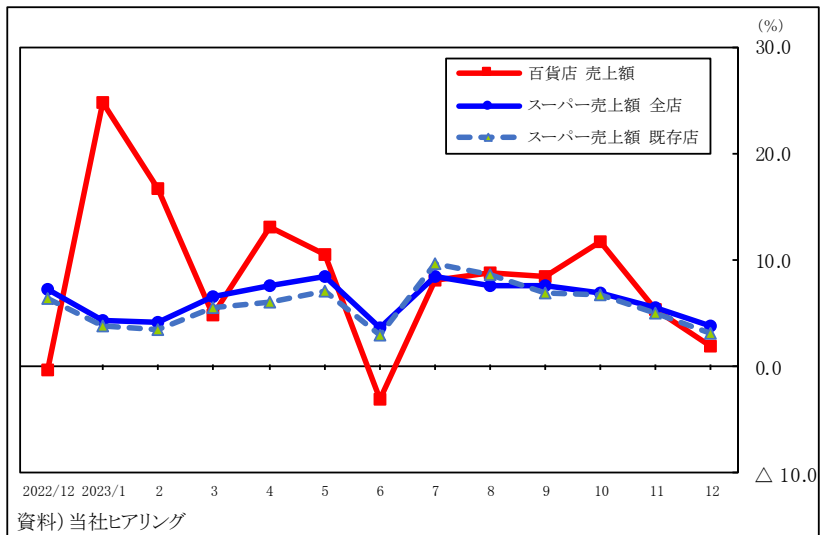


■個人消費： (やや良い)

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2022/12	7.2	6.5	△ 0.3
2023/1	4.4	3.9	24.8
2	4.1	3.5	16.7
3	6.6	5.6	4.9
4	7.6	6.1	13.2
5	8.4	7.1	10.6
6	3.6	3.0	△ 3.0
7	8.5	9.6	8.1
8	7.6	8.6	8.8
9	7.6	6.9	8.5
10	7.0	6.7	11.8
11	5.5	5.1	5.3
12	3.8	3.2	2.0



注) 前年同月比

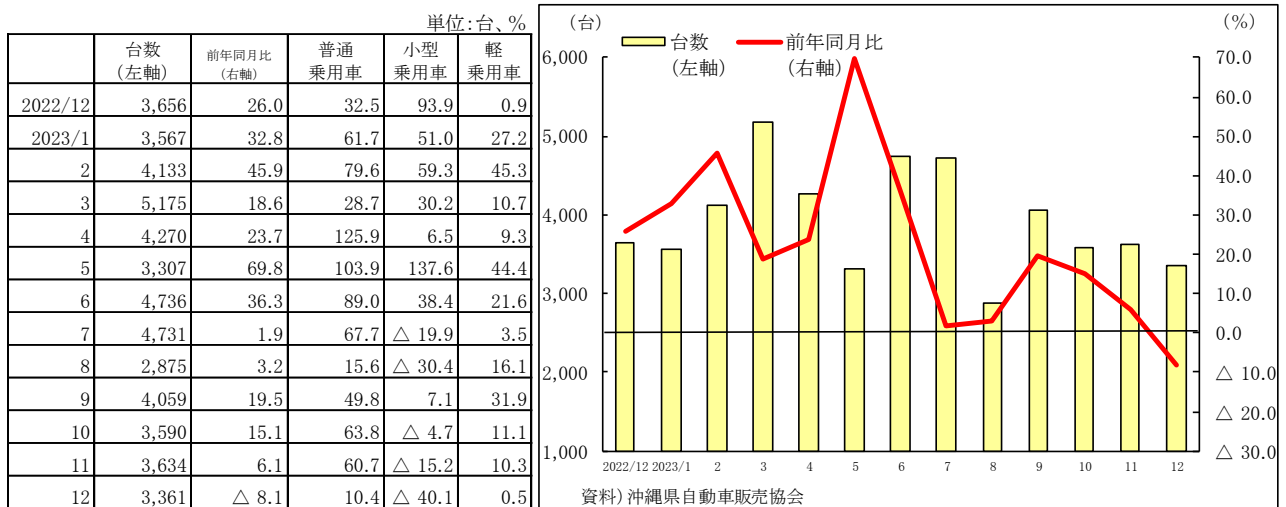
12月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 3.8%増)」は、19ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 4.8%増)」、家電を含む「家庭用品(同 1.8%増)」は来店客数増加や物価高による単価上昇などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 1.2%減)」は、前年同月を下回りました。

「既存店ベース(同 3.2%増)」は、19ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 4.1%増)」、「家庭用品(同 1.2%増)」は、来店客数増加や物価高による単価上昇などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 1.2%減)」は、前年同月を下回りました。

(参考値)コロナ禍以前の2019年同月比では、12.8%増となりました。

百貨店売上高は、前年同月を上回りました(同 2.0%増)。品目別では、ウエイトの高い「食料品(同 0.2%減)」はお歳暮関連商材の不調等により前年同月を下回りました。「衣料品(同 1.8%増)」、「雑貨(同 5.7%増)」は、前年同月を上回りました。「家庭用品(同 1.0%減)」、「身廻品(同 5.8%減)」は、免税売り上げの伸び悩等により前年同月を下回りました。全体としては6ヵ月連続で前年同月を上回りました。

## ② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を下回る。



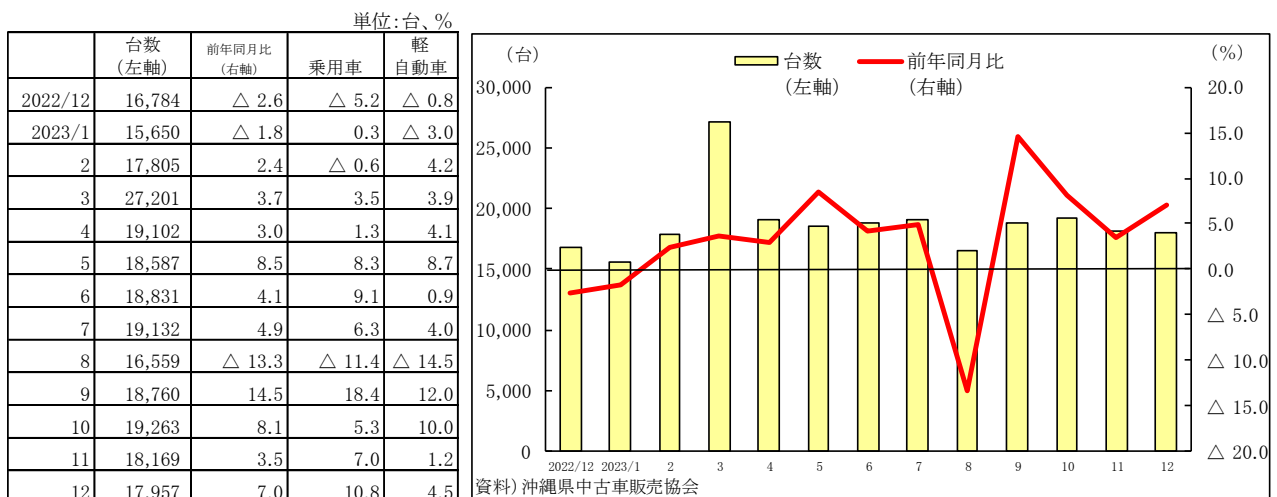
注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

**新車販売台数**は、全体で3,361台(同8.1%減)となり、16ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車(同10.4%増)」、「軽乗用車(同0.5%増)」は供給制限の影響が改善しつつあることなどにより前年同月を上回りました。「小型乗用車(同40.1%減)」は、レンタカー台数の減少などにより前年同月を下回りました。

(参考値) コロナ禍以前の2019年同月比では、全体で4.0%増となりました。車種別では、普通乗用車41.7%増、小型乗用車32.9%減、軽乗用車14.3%増となっています。

## ③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を上回る。



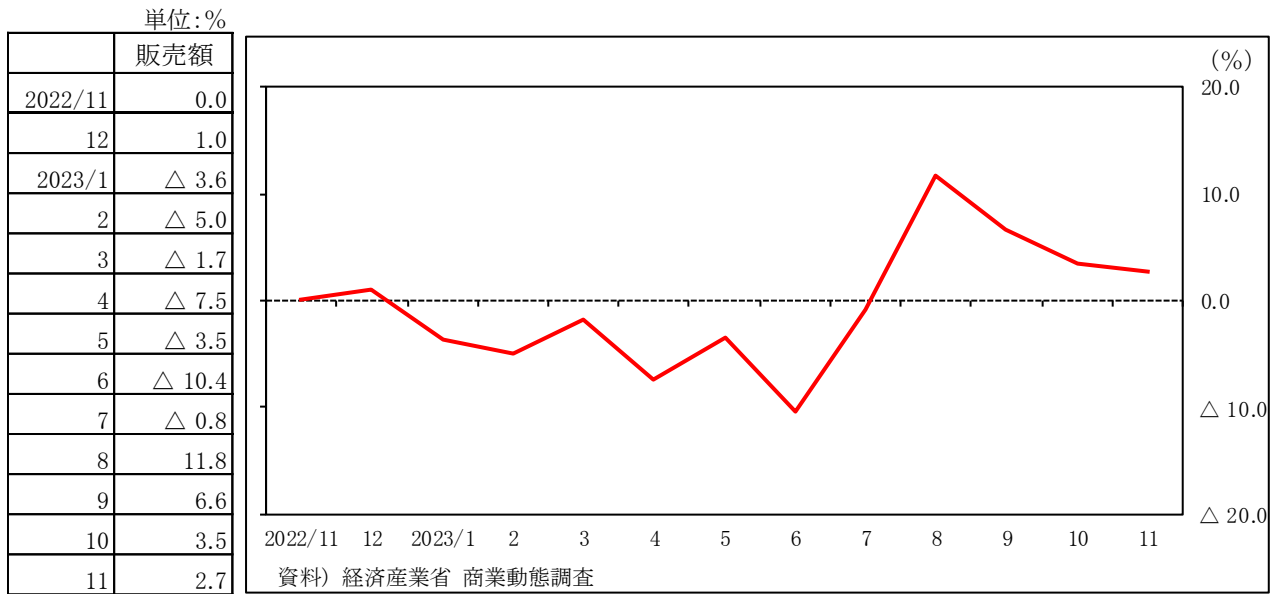
注) 前年同月比

注) 登録ベース

**中古車販売台数(登録ベース)**は、全体で17,957台(同7.0%増)となり、4ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「乗用車(同10.8%増)」、「軽自動車(同4.5%増)」と前年同月を上回りました。

(参考値) コロナ禍以前の2019年同月比は全体で3.3%増となり、車種別では乗用車3.8%増、軽自動車3.0%増となりました。

④ 【参考：11月】大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を上回る。



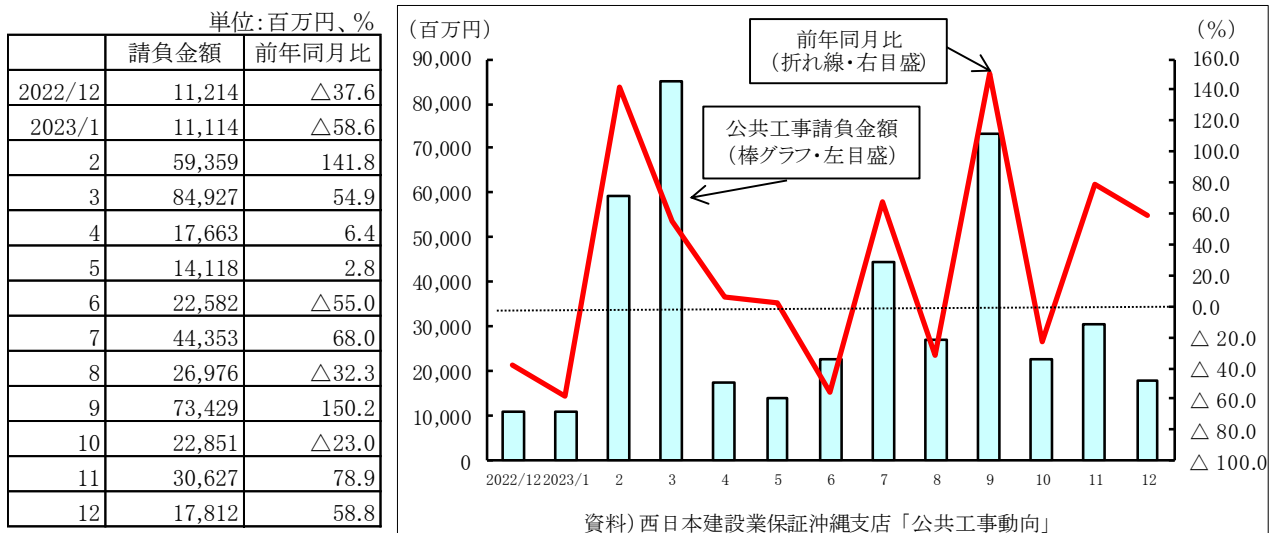
注) 前年同月比

11月の大型家電専門店販売額は前年同月を上回りました。

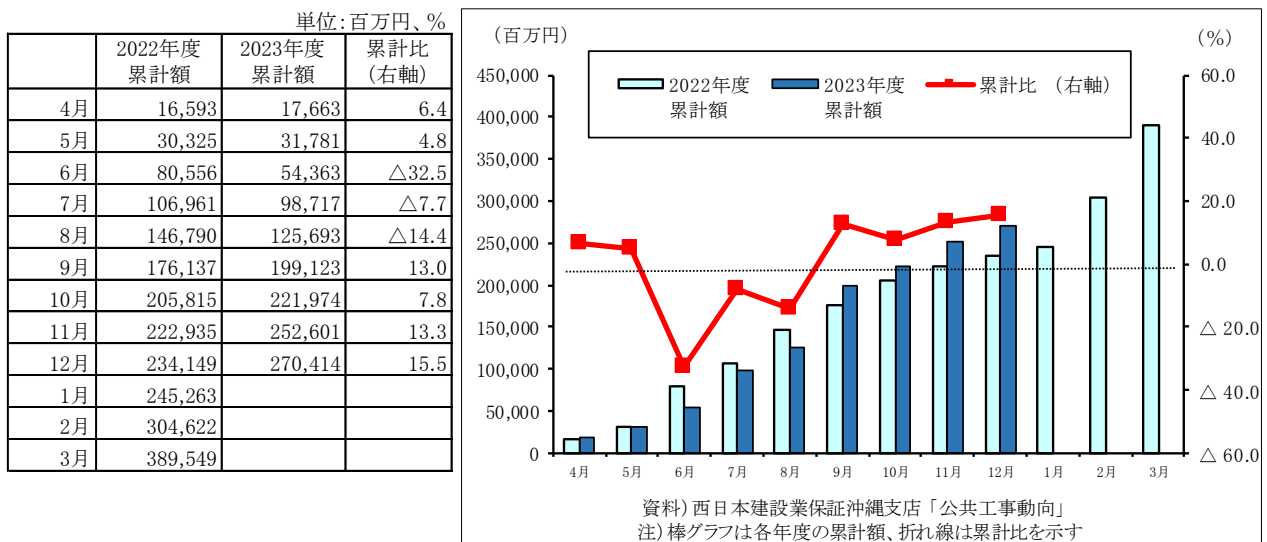


■建設関連： (ふつう)

① 公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を上回る。



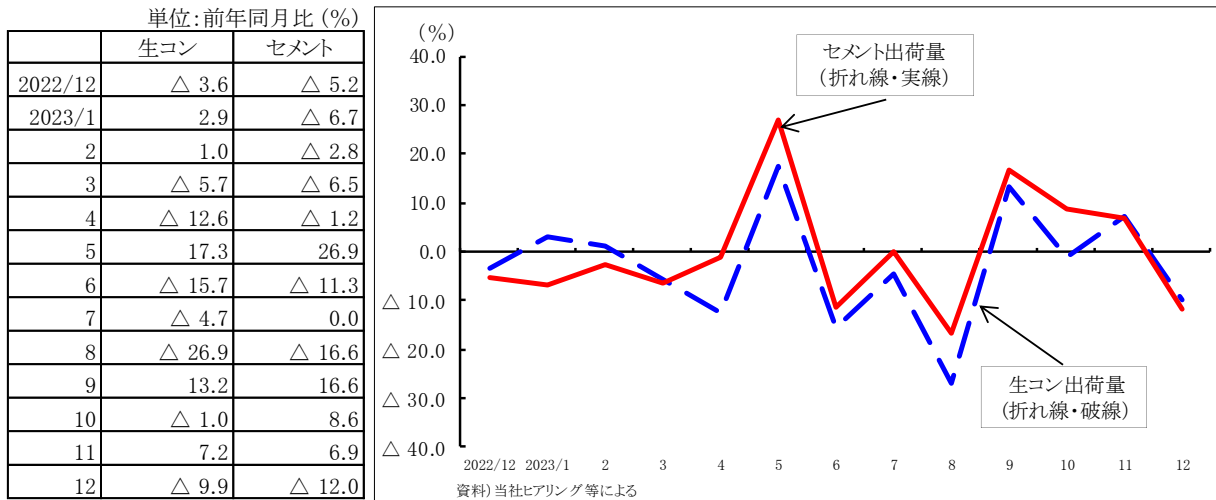
【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を上回る。



12月の公共工事請負金額は、前年同月比 58.8%増の 178 億 1,200 万円となりました(2ヵ月連続増)。

発注者別でみると、「市町村(同 69.0%増)」、「国(同 91.6%増)」、「沖縄県(同 43.7%増)」、「独立行政法人等(同 30.7%増)」は前年同月を上回りました。一方、「その他の公共的団体(72.9%減)」は前年同月を下回りました。

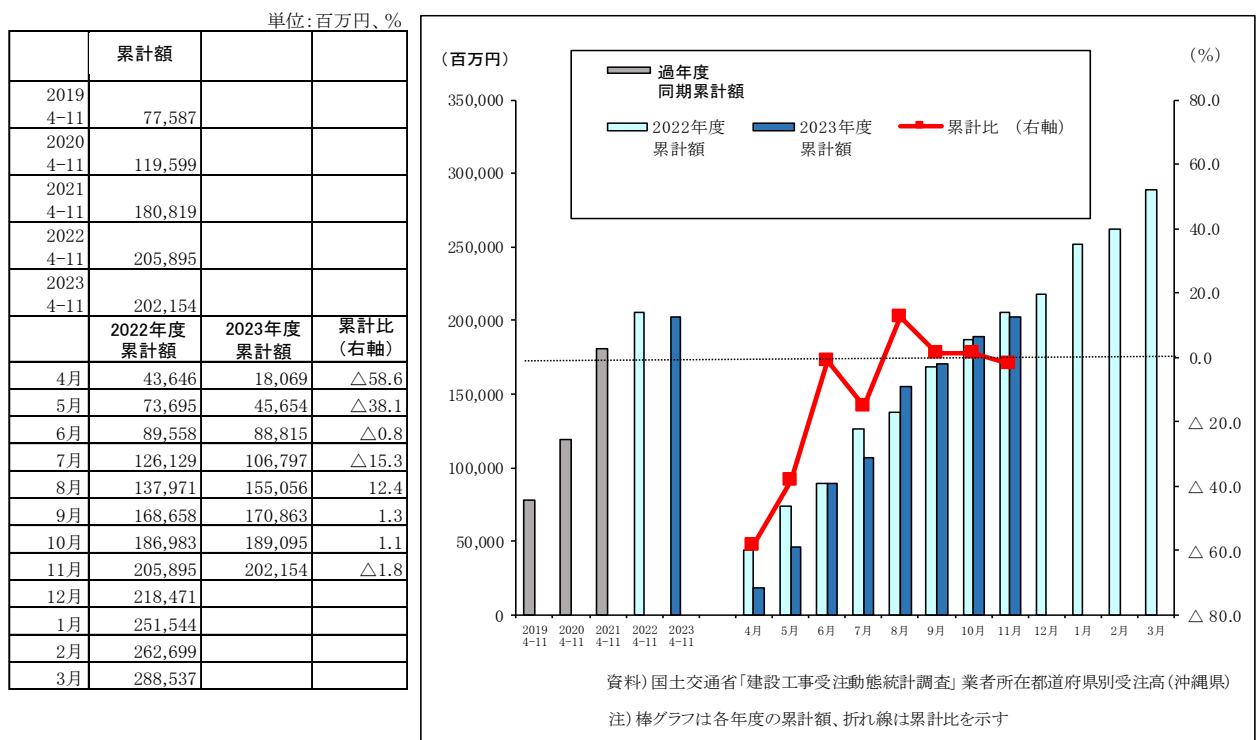
② 建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を下回る。



(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

**建設資材関連**では、**生コン**の出荷量は 9.9%減と2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けは中南部地区、石垣地区、宮古地区での出荷が減少したことなどから前年同月を 16.7%下回り、民間工事向けは中南部地区、石垣地区、宮古地区での出荷が減少したことなどから前年同月を 6.2%下回りました。**セメント**出荷量は 12.0%減と4ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

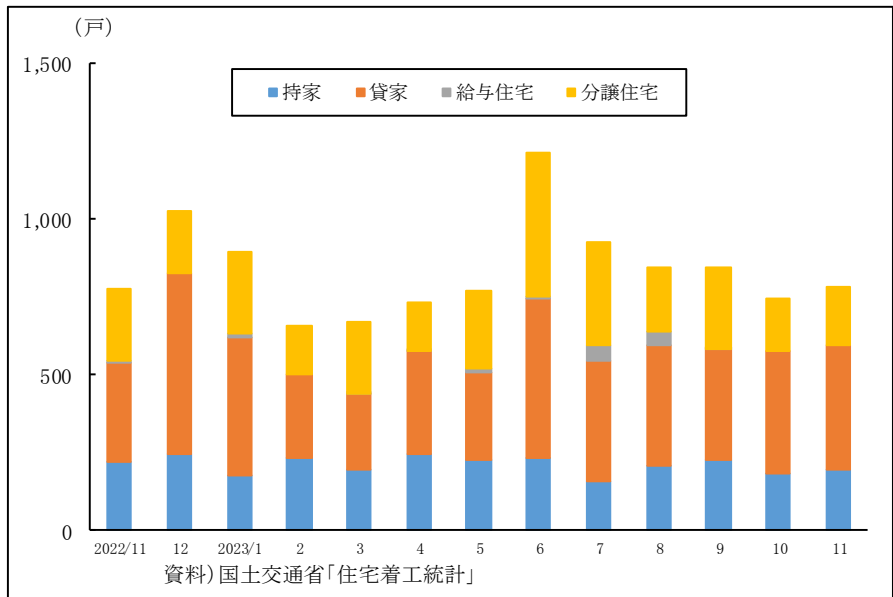
③ 【参考】民間等元請受注 (年度累計) …前年同期を下回る。



今年度累計値では、1.8%減となっています。

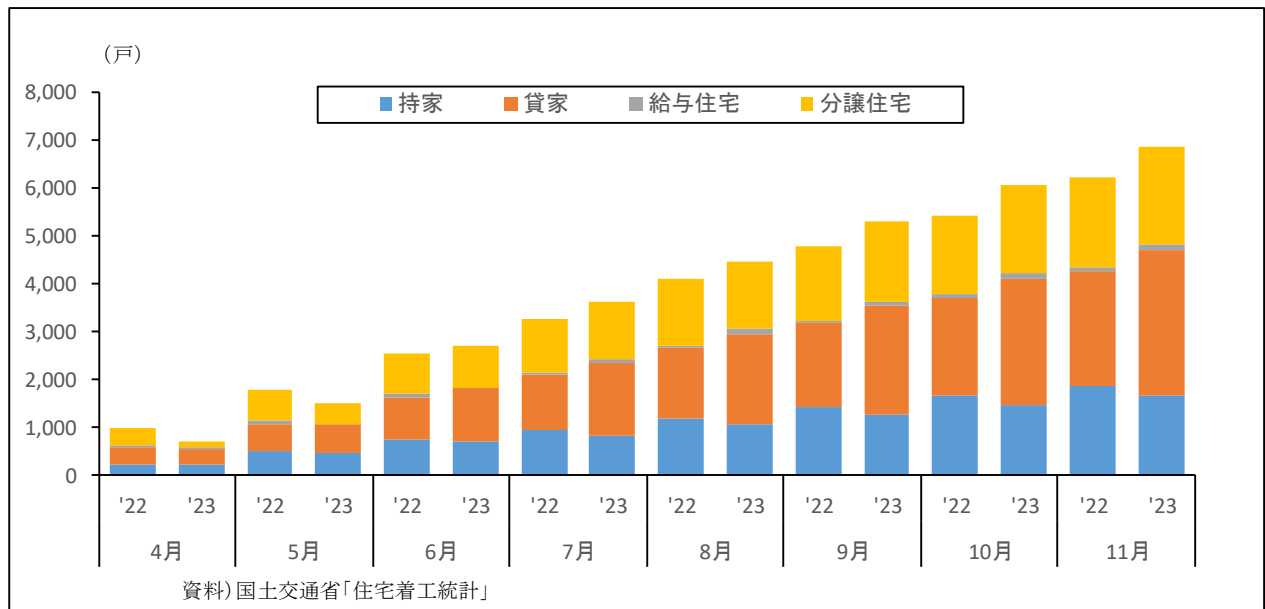
④ 【参考】住宅投資・・・着工戸数は前年同月を上回る。

		単位:戸、%	
	着工戸数		前年同月比
2022/11	777		△11.9
12	1,027		10.3
2023/1	895		41.4
2	657		21.2
3	670		△10.9
4	733		△25.2
5	768		△8.0
6	1,213		62.6
7	924		26.4
8	847		4.6
9	845		21.1
10	747		15.3
11	782		0.6



11月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比0.6%増の782戸となり、6ヵ月連続で前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、「貸家(同23.8%増)」は前年同月を上回りました。一方、「分譲住宅(同18.5%減)」、「持家(同11.5%減)」、「給与住宅(同100.0%減)」は前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資(年度累計)・・・着工戸数は前年同期を上回る。



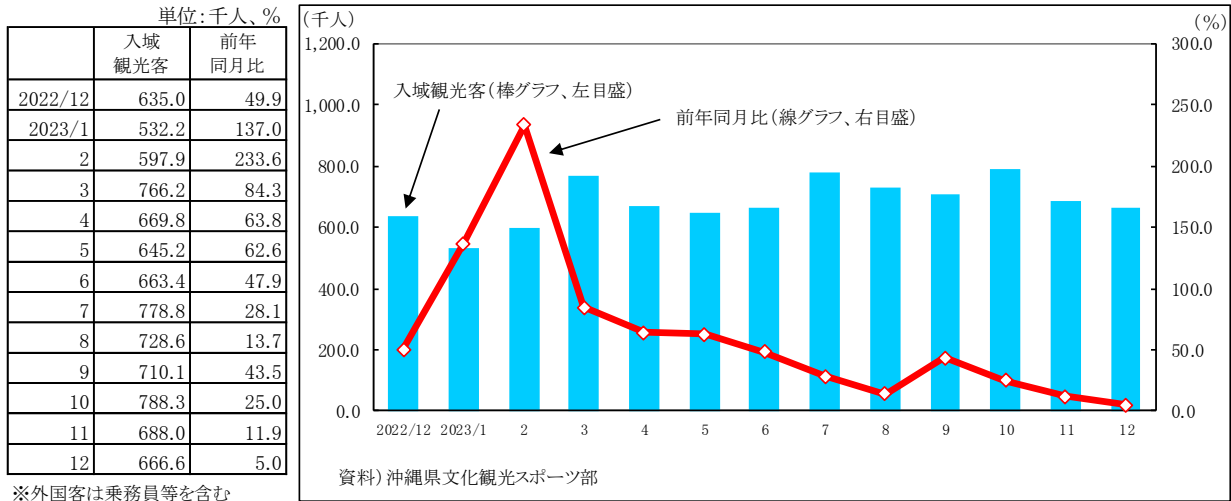
今年度累計値では、10.2%増となっています。





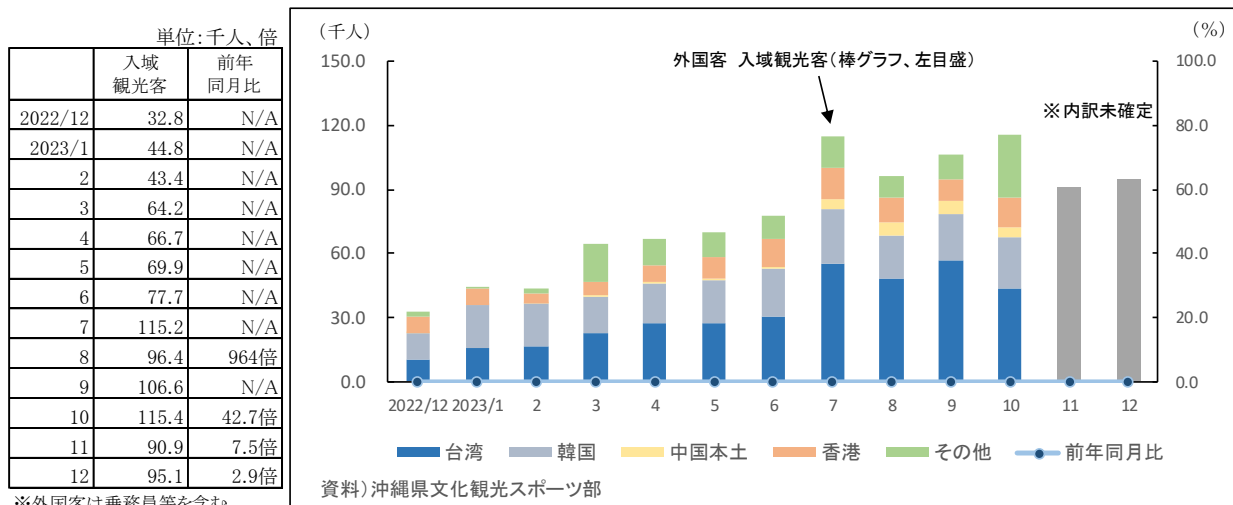
■観光関連： (やや良い)

①入域観光客数 (国内客・外国客の合計)・・・前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

外国客入域観光客数・・・前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

※前年同月比は倍率表示、グラフへの反映はなし。前年が0千人の月はN/Aにて表示。

12月の入域観光客数は、31,600人多い666,600人(前年同月比5.0%増)となり、25ヵ月連続で前年同月を上回りました。一方、国内客はNAHA マラソンなどイベント開催があったものの、全国旅行支援終了の影響などから30,700人減少(△5.1%減)となりました。

2019年同月比(国内客・外国客の合計)では、88,500人減少(11.7%減)と下回っています。

2019年同月比(国内客)では、1,200人減少(0.2%減少)となっています。

外国客入域観光客数は、95,100人となりました(空路88,900人、海路6,200人)。今後も各路線の運航再開・増便やクルーズ船の寄港などにより、外国客数の緩やかな回復が見込まれています。

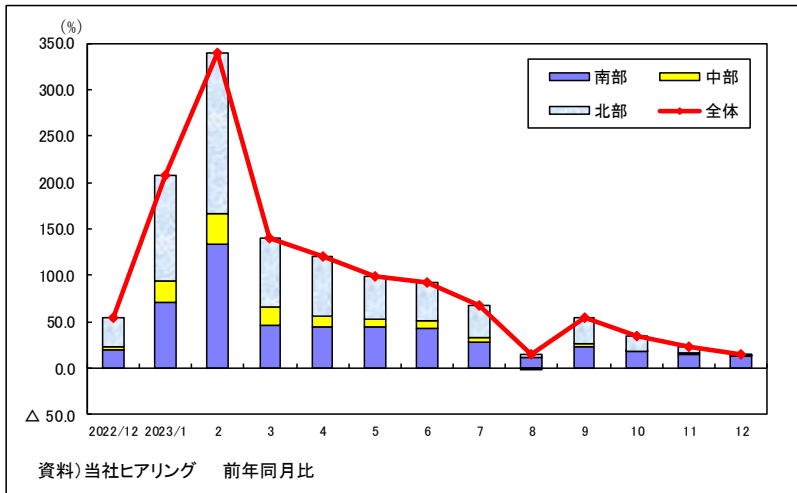
## ②観光施設入場者数・・・前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2022/12	54.3	59.0	19.6	61.9
2023/1	207.3	220.8	164.5	210.3
2	339.8	606.5	290.6	260.6
3	139.9	139.5	180.1	132.3
4	119.7	132.0	137.2	110.0
5	98.3	123.8	117.6	80.0
6	93.0	121.7	162.4	69.5
7	67.3	105.0	54.0	53.1
8	14.4	40.3	△ 1.3	5.5
9	54.2	77.9	51.1	43.3
10	35.3	51.0	12.1	29.7
11	23.7	36.7	11.3	15.9
12	15.1	37.2	0.3	3.9

※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設

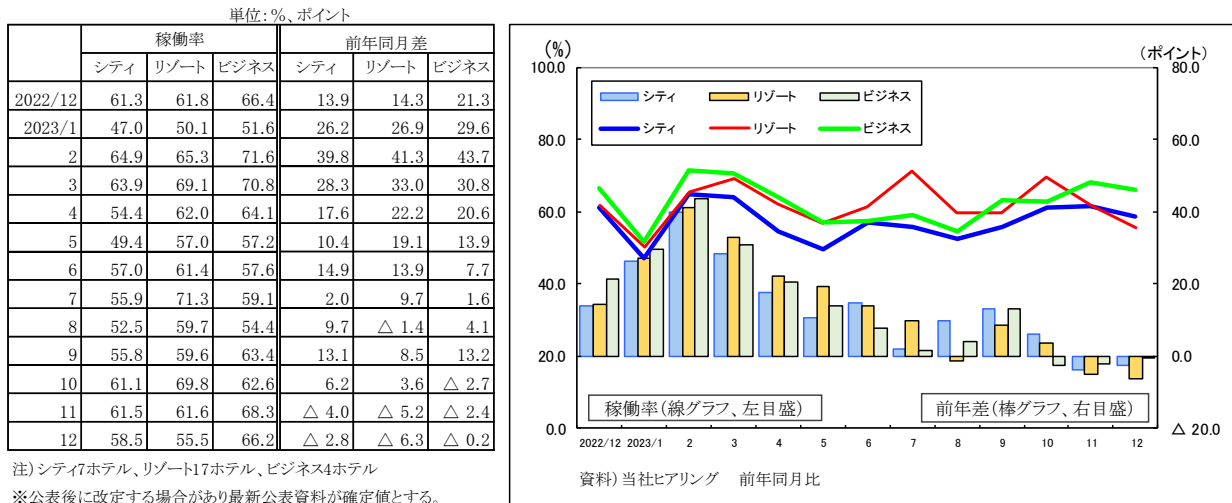
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



12月の観光施設入場者数は、団体客や外国人観光客の増加などにより全体では15.1%増となり21ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別では、北部の観光施設は3.9%増、南部は37.2%増、中部は0.3%増となりました。南部については、一部施設が前年閉館していた影響などから、増加率は高くなっています。

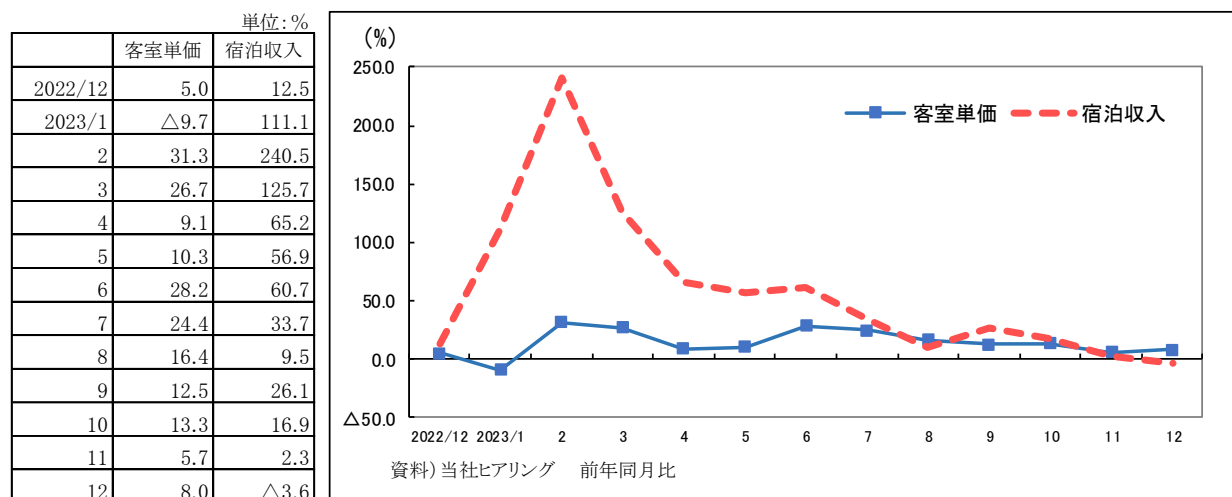
(参考)2019年同月比では、全体で20.2%の減少となりました。内訳では北部の観光施設は22.4%の減少、南部は10.0%の減少、中部は39.4%の減少となっています。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回る。



県内ホテル稼働率は、全国旅行支援の終了による個人客の減少などから、シティホテルは前年同月比2.8ポイント減少、リゾートホテルは6.3ポイント減少、ビジネスホテルは0.2ポイント減少しました。(参考)2019年同月比では、シティホテルは13.6ポイントの減少、リゾートホテルは6.3ポイントの減少、ビジネスホテルは0.8ポイントの増加となっています。

④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入は下回る。



※対象施設数:24施設(シティ7、リゾート17)、ビジネスは除く  
※客室単価は24施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)  
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は8.0%増と11ヵ月連続で前年同月を上回りました。一方、宿泊収入においては3.6%減と25ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。(参考)2019年同月比では、客室単価は15.0%の増加、客室収入は4.4%の減少となっています。

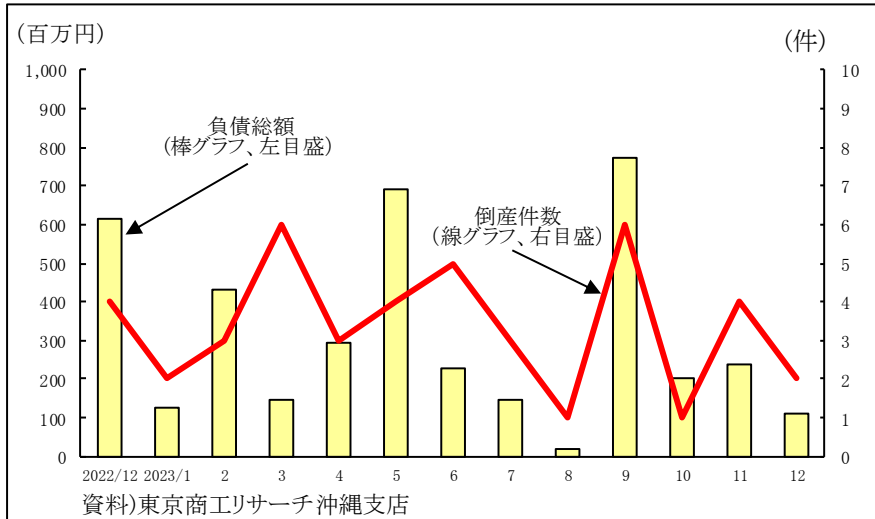


■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2022/12	617	4
2023/1	128	2
2	430	3
3	145	6
4	294	3
5	689	4
6	225	5
7	147	3
8	20	1
9	771	6
10	200	1
11	239	4
12	110	2



注) 負債総額1,000万円以上を集計対象

12月の企業倒産件数は2件(うち大口倒産は1件)となり、前年同月より50.0%下回りました。

負債総額は1億1,000万円となり、前年同月より82.2%下回りました。

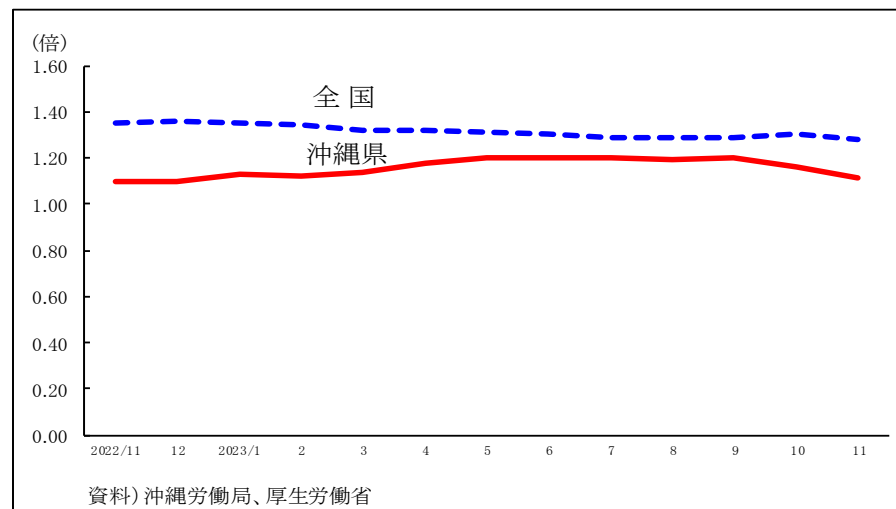


■雇用関連： (やや良い)

①【参考】有効求人倍率・・・沖縄、全国はともに前月より低下。

単位:倍

	沖縄県	全国
2022/11	1.10	1.35
12	1.10	1.36
2023/1	1.13	1.35
2	1.12	1.34
3	1.14	1.32
4	1.18	1.32
5	1.20	1.31
6	1.20	1.30
7	1.20	1.29
8	1.19	1.29
9	1.20	1.29
10	1.16	1.30
11	1.11	1.28



注) 季節調整済

注) 沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

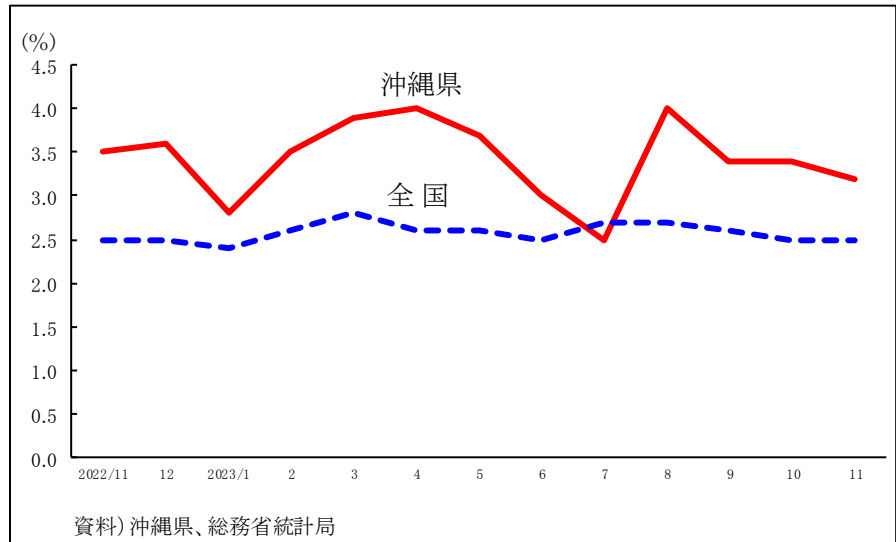
11月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比3.4%減の32,429人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比0.9%増の29,157人となり、有効求人倍率(季節調整値)は1.11倍と、前月より0.05ポイント低下しました。

② 【参考】完全失業率・・・沖縄は前月より低下、全国は同水準。

単位:%

	沖縄県	全国
2022/11	3.5	2.5
12	3.6	2.5
2023/1	2.8	2.4
2	3.5	2.6
3	3.9	2.8
4	4.0	2.6
5	3.7	2.6
6	3.0	2.5
7	2.5	2.7
8	4.0	2.7
9	3.4	2.6
10	3.4	2.5
11	3.2	2.5

注) 季節調整済



11月の完全失業率(季節調整値)は、3.2%となり前月より0.2ポイント低下しました。